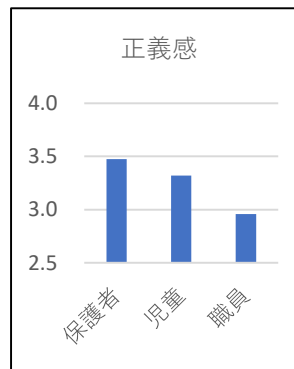
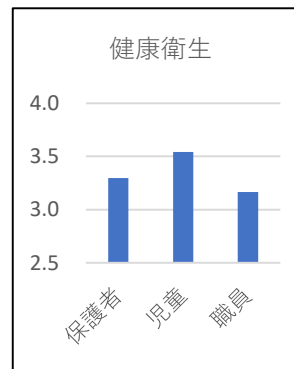
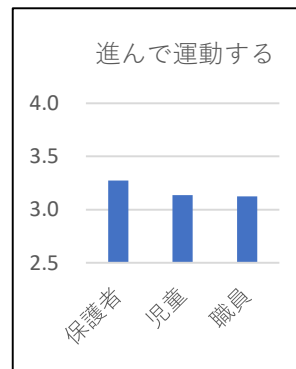
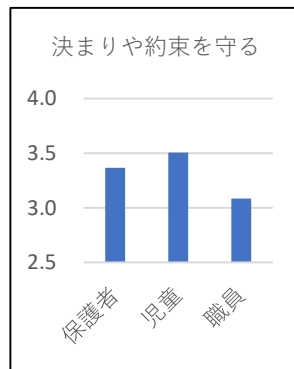
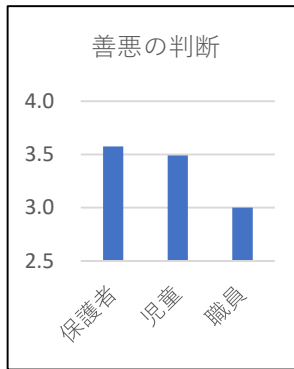
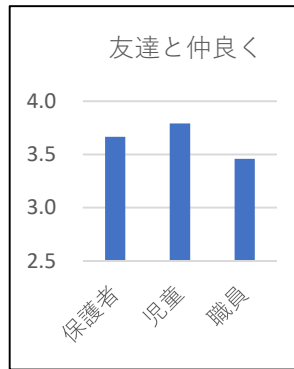
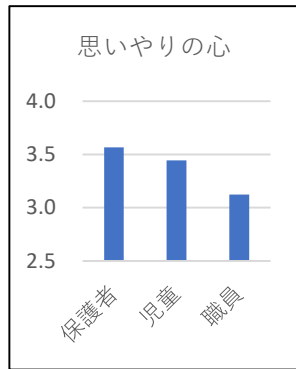
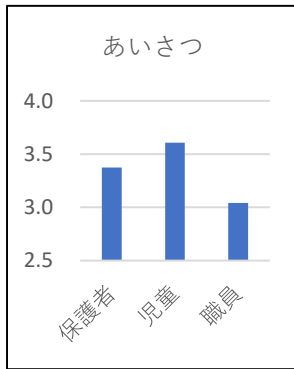
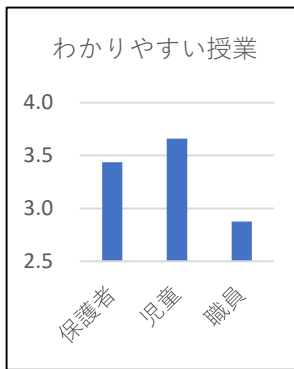
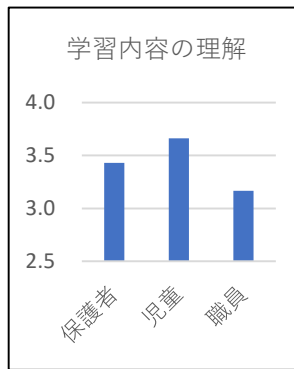
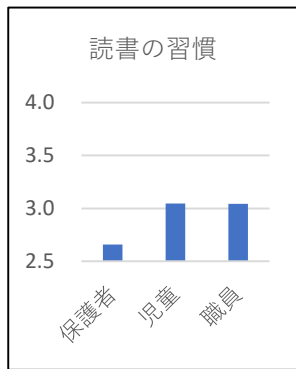
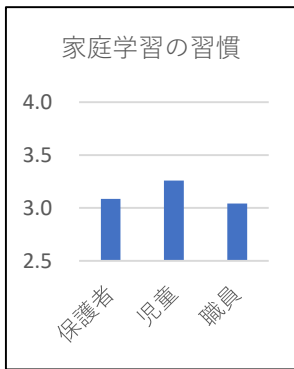
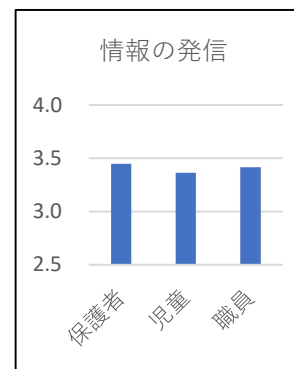
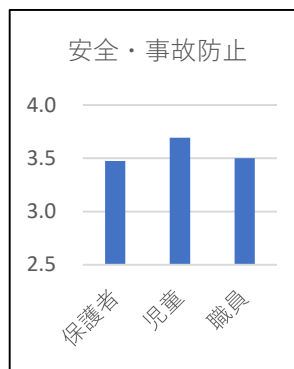
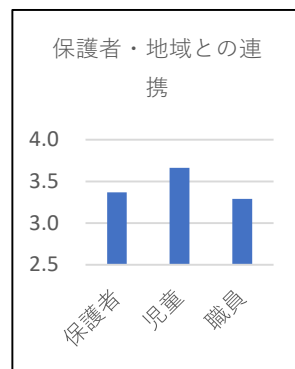
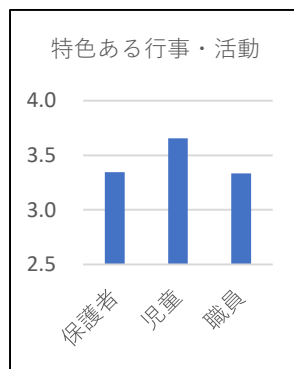
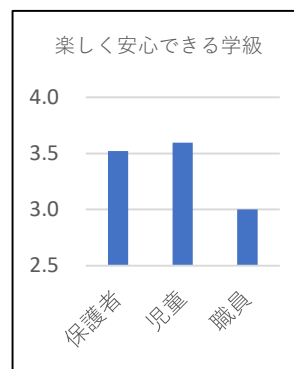
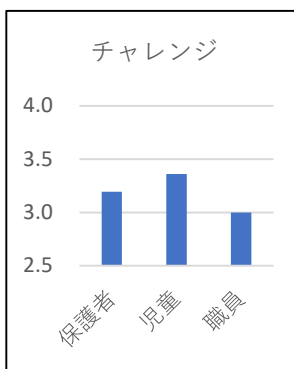
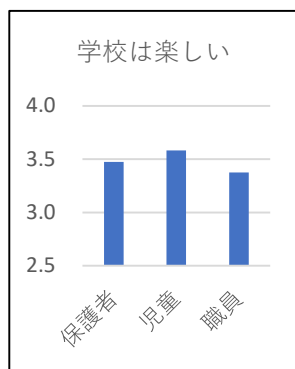
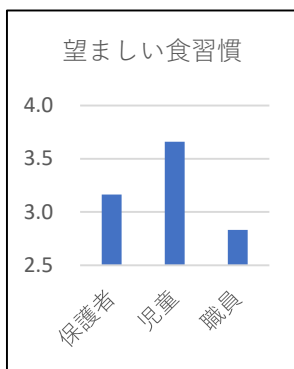


令和4年度 教育活動に関するアンケート 考察

質問	保護者	児童	職員	保護者	児童	職員	保護者	児童	職員	保護者	児童	職員	保護者	児童	職員	保護者	児童	職員	保護者	児童	職員			
学校の情報の発信	3.4	3.4	3.4	安全・事故防止	3.5	3.5	保護者・地域との連携	3.4	3.4	特色ある活動・行事	3.3	3.3	楽しく安心できる学級	3.5	3.5	チャレンジ	3.2	3.2	学校は楽しい	3.5	3.5	望ましい食習慣	3.2	3.2
正義感	3.5	3.3	3.0	健康衛生	3.3	3.2	進んで運動する	3.3	3.1	決まりや約束を守る	3.4	3.1	思いやりの心	3.6	3.4	友達と仲良く	3.7	3.5	善悪の判断	3.6	3.5	わかりやすい授業	3.4	3.1
読書の習慣	2.7	3.0	3.0	学習内容の理解	3.4	3.2	家庭学習の習慣	3.1	3.0	あいさつ	3.4	3.0	読書の習慣	3.6	3.0	学習内容の理解	3.7	3.2	わかりやすい授業	3.0	3.0	読書の習慣	3.7	3.0
家庭学習の習慣	3.1	3.0	3.0	読書の習慣	2.7	3.0	読書の習慣	3.0	3.0	読書の習慣	3.0	3.0	読書の習慣	3.0	3.0	読書の習慣	3.0	3.0	読書の習慣	3.0	3.0	読書の習慣	3.0	3.0





【考察】

①学び合う子（知育面）

○児童・保護者ともに、学習への理解は高い。職員の授業に対する向上意識もみられているが、継続してわかる授業を目指していく。学習中の児童同士のかかわり合いにより、学びが深められていると推察される。

▲昨年度に引き続き、読書習慣に課題がみられる。中央図書館の団体貸出を利用するなど、学級での読書環境を良くしている。また、図書委員会の企画で、より読書に親しめるようにビンゴ活動を行ったが、さらに読書に親しめるように手立てを講じる必要がある。

②思い合う子（徳育面）

○友達との関係や相手への思いやり、決まりや約束を守る、安全への意識という点について、良い結果が見られている。今後もさらなる道徳的実践力の向上に向けて、道徳科の学習を要として様々な教育活動を行っていく。また、挨拶についての意識が昨年度よりもよくなった。さらに、児童と職員あいさつ運動の日常化を今後も図るとともに、児童一人一人の意識の向上に対して取り組んでいく。

▲全体的な傾向としては良いが、個々に目を向けると課題もみられる。個に応じた対応も含め、引き続き徳育面の指導をしていく必要がある。

③鍛え合う子（体育面）

○健康・衛生面に対する意識が高い。新型コロナウイルス感染症予防に向けた行動に対する意識の向上が影響していると思われる。

▲進んで運動する意識がやや低い。体力テスト等の結果を見ても、学年により差が見られる。学年や学級の実態に応じて、進んで運動に取り組めるように手立てを講じる必要がある。

④その他

○「学校が楽しい」「楽しく安心できる学級」「友達と仲良く」に関する数値が高い。学年や学級、学校行事等